



すぎもり けんじ  
杉森 賢二 議員



ふるさと納税を財源の一部にして設置された街路灯

**問** 町に寄附されたふるさと納税のこれまでの実績と、町外へ流れている納税状況は。企画財政課長 下記のとおり。

**ふるさと納税の現状**

(29年度は2月末現在)

年度	町への納税状況	町民の他自治体への納税状況	町の個人町民税減収額
27	7件 27万円	161件 940万円	384万円
28	4件 11万円	582件 6,602万円	2,997万円
29	6件 34万円	1,012件 1億1,419万円	5,193万円

1万円未満は切り捨ててあります。

**問** ガバメントクラウドファンディングを活用した長泉モデルのふるさと納税システムの構築を。町長 返礼品ありきでなく、共感を得るような政策で競い合うことが好ましく、寄附をいただいた方には、謝意の範囲内でお礼と、経過報告などフォローを行う必要があり、ふるさと納税に伴う当町の個人町民税が減収していることは憂慮すべきことであり、返礼品による地域経済の振興といたつたプラス面も考えられることから、安定的な供給が可能で品不足といった比較的リスクの低いものを返礼品とするなどを含め検討する。

**A** 地域経済振興のプラス面も考慮し、検討する

**Q** 長泉モデルのふるさと納税システム構築を

**行政課長** 区長の負担軽減についてはこれまでも取り組んできたが、区長会は区長から様々な意見を伺い、今後の町政運営

**問** 若者のチャレンジできる地域づくりを。産業振興課長 現在策定中の長泉町立地適正化計画で、下土狩駅周辺や長

泉なめり駅周辺を商業や業務機能を充実させる都市機能誘導区域に位置付ける予定である。今後、この区域の中で個店の新規出店をはかるため、新たに商売を始めようとする人を対象に店舗経営を学ぶための仮店舗を作ることで、将来的に当該地域内で商売を行ってもら

**問** 仕事と育児の両立、子育て支援の充実を。課長 子育てしながら働くことの意識啓発を行い、仕事と育児の両立できる環境づくりを推進する。

**労働環境の充実**

に反映するための良い機会でもあるため、バランスにも考慮しながら、必要に応じて見直しをはかっていく。

うための方策、いわゆる「チャレンジジョブ制度」の展開など可能性を考えていく。

**A** 多様な就労ニーズに対応していく

**Q** 働き手を増やすための対応策を

※ガバメントクラウドファンディング…自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の使い道を具体的にしたプロジェクトに共感した方から寄附を募る仕組み